

# かしわ

第73号

令和6年6月28日  
ときわ会長岡東支部

## Contents

- 巻頭言 …… 1 / ● 委員会・東だるま会活動方針 …… 2-3 /
- 年層別研修 …… 4 ● 東だるま会 …… 5 / ● 令和6年度ときわ会代議員会報告 …… 6 ● 転入会員あいさつ …… 7-11 /
- 新入会員紹介 / 編集後記 …… 12



## 人と人とのつながりを大切にした

## 支部活動の推進

支部長 小海 信幸

5月の支部総会により、長岡東支部は、ときわ会創設151年目の新たなスタートを力強く歩み出した。

その2日後の5月13日、中教審の特別部会は、処遇改善や残業削減などの教員確保策の提言をまとめ、盛山文部科学相に提出した。その提言ポイントとして、「月給4%相当の教職調整額を10%以上に増額」「学級担任の手当加算や管理職手当の増額」などの処遇改善や、「11時間を目安とする勤務時間インターバルの導入」「残業は月45時間以内を目標とし、将来的には月20時間程度まで減らす」「小学3、4年にも教科担任制を拡大」などの残業削減・負担軽減が示された。

さて、これらの教員確保策を聞いて、希望の光が見えただろうか。それとも落胆のため息が漏れただろうか。私には、ため息が大きく聞こえているように思う。特に、長時間労働の解消という点では、より具体的な業務削減策を期待していただけに残念である。

教職員の研修の機会は、第一義的には所属校である。

各校においては、授業づくりや研修の時間を生み出すために、他の業務の軽減に腐心していることと思う。今後、教員配置の観点で業務削減策が示され、教職員の研修の機会が確保されることを切に願っている。

その上で、所属校の研修に満足せず、より深い学びの場として選ばれるときわ会でありたい。今年度、長岡東支部は、その思いに応えるべく、多様な人材を活用し、人と人とのつながりを大切にして、会員のニーズに応じた主体的な支部活動を着実に推進する。

### 【今年度の支部活動の重点】

- 1 多様な人材を活用し、人と人とのつながりの中で授業力・指導力等を向上させる研修を推進する。
- 2 会員一人一人のライフステージを考慮した上で、計画的な人材育成と組織の活性化を図る。
- 3 研修や諸活動に関する情報を積極的に発信し、会員内外のネットワークの拡充を図る。